

## 第三者評価結果報告書

総括	
対象事業所名	COSMOS保育園
経営主体(法人等)	有限会社 ルミエール企画
対象サービス	保育分野
事業所住所	〒234-0053横浜市港南区日野中央1-18-13 サンプラザ港南台1F
設立年月日	平成23年4月1日
評価実施期間	平成28年8月～28年11月
公表年月	平成29年5月
評価機関名	株式会社R-CORPORATION
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【立地面での特色】</b></p> <p>●COSMOS保育園の立地・概要</p> <p>COSMOS保育園は地理的には、ほぼ鎌倉街道沿い（一筋奥）にあり、地下鉄上永谷、上大岡駅およびJR根岸線港南台駅から、各々ほぼ等間隔の地点にあり、「横浜横須賀道路」日野インターチェンジ、鎌倉街道、環状2号線日野立体に近く、車による交通の便では非常に良いところに位置しています。園の前は一方通行になっており、車の通行の少ない枝道に立地し、雨の日の車の送迎では容易であり、専用駐車場も2台分確保されている点は利点です。園舎はマンションと併設で建設されており、1階に道に面して園舎が設けられ、2階には円形一面ガラス張りで施された出で立ちが特徴であり、玄関にはスロープを設け、大きな庇は雨の日の送迎に助かります。また、園舎の前方には広大な日野中央公園があり、後方には日野公園墓地につながる丘陵が広がり、街中にもかかわらず、緑が十分に残り、窓を開ければ緑を抜けてきた新鮮な風で換気ができる良い環境にあります。COSMOS保育園は、定員63名の中規模保育園であり、0歳児の定員3名以外は各年齢12名定員で、現在62名を受け入れています。園長は古くからこの地域の住人で、地域との関係も深く、近所に親戚、知人も多く、地域と良好な関係が構築されているのはCOSMOS保育園の強みです。さらに、住宅地として発展する都会で育つ子どもたちに、法人の親戚が営む農園の一部を借り入れ、野菜類を栽培し、土に親しむ貴重な体験を提供しているのも、COSMOS保育園の魅力の1つになっています。</p> <p>●COSMOS保育園の保育の方針</p> <p>COSMOS保育園は、園の基本精神を『人を愛し、物を愛し、自然を愛し、普遍を愛します』に置き、子ども中心の保育を推進する中に環境方針の要素を組み込んだ内容になっています。具体的な保育方針は、『知徳体食育』のバランスのとれた保育を目指して実践につなげています。「知育」では遊びを通して学び、「徳育」では、保育士がたっぷりの愛情を注ぎながら子どもに豊かな優しい心を育み、「体育」は適度な運動の継続により健康な体作りに努め、「食育」については、日々の食事を通して“生命”と“食”の大切さを育むよう取り組んでいます。保育では、先ず保育の安全を確保し、保護者・他に安心を提供することや、子ども一人一人の感性・人間性を育み、個々の子どもの自立を促し、調和のとれた人間関係を育てています。また、ありのままの子どもの姿を受容し、共感する心を持ち、優しく柔和な態度で子どもに向き合うよう心掛け、保育を推進しています。保護者に対しては、連携を密にし、一緒に子どもを大切に守り、共に育てるよう努めています。</p> <p><b>【特に良いと思う点】</b></p> <p>1. 音楽に包まれた保育環境の推進</p> <p>COSMOS保育園では音楽に包まれた保育環境を大切にしています。1つは朝の音楽集会在が挙げられ、音楽集会には0歳児を含めた全園児が参加します。9時過ぎになると、3歳～5歳児の保育</p>	

空間のパーティションを外し、椅子を並べて会場の設定を行い、幼児の設定が終わると、1歳、2歳児が各自、自分の椅子を運んできて並べます。楽しい絵が描かれた歌詞カードを用意し、園長の指揮の下、子どもたちが、時間が過ぎるのも忘れ嬉々と楽しく歌っている姿があり、子どもは興味を持って自由に表現していました。また、プロの音楽家が来園し、ピアノと管楽器を合わせて音楽鑑賞会を設け、本物の音楽に触れる機会を設けています。さらに、園内放送や、日頃の保育の中で音楽に触れる環境作りを行い、音楽に包まれた保育園生活を推進しています。英語のレッスン時にも音楽と共に英語に触れる等、「音楽」を通じて子どもたちは五感を育み、様々な関心や興味につなげています。

## 2. 食育の推進

COSMOS保育園では食育に力を入れています。食育の前段階として野菜等の栽培に取り組み、園では法人の親族が経営する農園（八千代農園）を借り入れ、農園実習を取り入れています。小さい時から土に親しみ、1歳児は農園見学、2歳、3歳、4歳児は農園遊びを行い、5歳児は耕作体験を実施しています。1歳から4歳児はプランターで植物を育てています。自分で収穫した野菜等は調理体験にも取り入れ、食への関心・興味を通して野菜の苦手意識から“好き”につながり、食後には、調理師と一緒に今日の昼食の三色栄養群分類と一緒に確認し、食事を食べ終えた子どもから順次参加する等、食の大切さに役立てています。食事の提供については、独自の給食にこだわり、栄養士、調理師を配置し、食の安全に努め、楽しく、美味しく、バランスの取れた食事を提供し、生命と健康の大切さを伝えています。献立は月2クール方式で作成し、前半・後半ごとに給食会議を開催し、喫食状況等を把握して献立の味付け、盛り付け、刻み等の工夫を話し合い、より良い献立に反映させ、食育に取り組んでいます。

## 3. 外国人講師による英語、体育の実践

保育内容の1つに、毎月1回、体育の外部講師による幼児体操の時間を取り入れ、英語のプログラムでは毎週1回、外国人教師による英語体験の時間を設けています。体育では、3歳、4歳、5歳児を対象に、体操の基本について実技を通して体感し、体育指導のメカニズムの知識を持った専門家（体育大学出身の専門講師）の指導を受け、保育士自体もその講習を見聞きして日頃の保育に活かせるようにしています。幅広いノウハウを持って子どもたちを導き、子どもも体操に親しみ、体育の先生にも懐いて楽しみながら体をおもいっきり動かしています。英語の時間では、学習に特化せず、外国の興味、関心を引き出し、国際感覚を育み、絵や器材、音楽を取り入れて楽しい時間を持っています。講師はイギリス出身であり、ネイティブな発音で子どもに接し、子どもはすぐに発音を覚え、外国の文化に感心を寄せ、吸収し、保護者からも子どもの発音が良いとの意見もいただいています。

### 【さらに期待される点】

#### 1. 実習生を受け入れる対象大学へのアプローチ

COSMOS保育園では実習生、ボランティアとも積極的に受け入れる姿勢があり、体制も整えていますが、現状、ボランティアの受け入れのみに留まっています。特に、後進の指導に寄与する実習生については、昨年度、学校から申し込みがあり、受け入れを了承しましたが、学校側の都合でキャンセルになった経過がありますが、実習生の受け入れは今後の要員確保のポイントであり、現有保育士に新しい保育教育の実態、後進を指導することでのレベル向上など効果は大きいと思います。今後、保育科を持っている大学、特に神奈川県下の大学と複数連絡をとり、受け入れを促進することが望ましいと思います。今後の取り組みに期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

● 保育理念・基本方針は、COSMOS保育園の園是（理念）の1項目に、「子どもの最善の利益を確保し、その実現に努めます」と定め、保育理念と方針を周知し、配布しています。児童憲章を尊重した保育を実施することを心がけており、1～12項目の内、特に、「一、すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、すべての児童は育てられ、その生活を保障される。二、すべての児童は、家庭で正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、

	<p>これにかわる環境が与えられる。三、すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疾病と災害から守られる。」の3項を大切に保育にあたっています。個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員に対して、入職時に誓約書を提出してもらい、従事後も留意しています。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護規定があり、個人情報が記載されている書類は、事務室の鍵のかかる部屋で集中管理・保管しています。</p>
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<p>●保育課程に基づき、各クラスの指導計画を作成して保育を実践しています。指導計画は、毎年、年度末に引き継ぎと共に振り返り、「子どもが目目を輝かせられる」保育を考え、実践に努めています。子どもたちへの説明および対応については、週の目標（大『ねらい』）と毎日の目標（小『ねらい』）に分けて取り組み、理解できる子どもには説明をしています。指導計画については、基本的に月案、週（日）案できめ細かく修正・見直しを行い、園長、主任の評価も得、期毎、月毎に確認し、反映する体制を整えています。</p> <p>●動植物の飼育や栽培の取り組みでは、栽培活動は八千代農園（法人代表の親族が経営）で農園実習を取り入れ、小さな頃から土に親しむ活動を行っています。1歳児は農園見学をし、2歳、3歳、4歳児は農園遊び、5歳児は耕作体験を行っています。農園では園児たちが育てたものの他、農家の方が作った空豆を収穫する体験もしています。園庭のプランターでも1歳～4歳児で植物の栽培体験を行い、2歳児はプチトマト、3歳児がオクラ、4歳児ではトウモロコシを栽培し、成長を観察し、食育につなげています。飼育では、保育室内（幼児）でカブトムシ、クワガタ、かたつむりを飼育し、子どもたちは成長の観察と共にカブトムシの絵を描いています。</p> <p>●子ども同士のトラブルの場合は、保育士は子どもが自らの言葉で思いを伝えられるように援助し、危険がないよう見守りながら仲介するようにしています。特に、5歳児については極力、子ども同士で解決できるように促し、相手のことを考え、解決方法を身に付けることで、異年齢の関わりの際に年長児として上手にコミュニケーションを図ることにもつながっています。トラブルについて双方で解決できない場合は、子どもの尊厳を念頭において諭すようにしています。</p> <p>●献立表は、月末に各家庭に配布し、給食サンプル提示は特別メニュー時のみ設置し、通常の食事は写真撮影したものを掲示して保護者に知らせています。また、食材の産地表示を行い、レシピは自由に持ち帰れるようタイムカードの隣に置き、保護者へ食の興味・関心につなげています。給食の試食は、試食希望者に、保育参観（自由参観）後、主菜を中心に提供し、親子の集いや、茶話会などでも試食ができる機会を設けています。</p> <p>●保護者との情報交換は、送迎時、連絡帳などで意見を聞き、子どもの様子を伝えています。長時間保育をする家庭には、漏れのないよう引継ぎを行い、遅番の職員が保護者に口頭で伝えるように心がけています。保護者から意見を聞く機会として、定期的に個人面談を実施し、要望に応じて随時面談を柔軟に行っています。</p>
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<p>●新入園児の受け入れの際は、短縮保育（ならし保育）を実施し、1週間から10日程度行い、子どもの個性や、保護者の状況に応じて臨機応変に対応するようにしています。子どもが心理的拠り所とする「物」の持ち込みについては可能とし、子どもの心の安定が図れるよう配慮しています。</p> <p>●子どもの記録としては、面談票・保育経過記録・児童票を作成し、職員間で共有を図り、子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をしています。記録は、必要に応じて職員が閲覧できる体制とし、園舎の2階のマンションを事務室として書類等は保管・管理されているので、守秘は徹底されています。進級時の申</p>

し送りについては、方針を踏まえ、漏れのないよう徹底して行っています。5歳児クラスの担任は保育所児童保育要録を作成し、近い小学校には持参しています。

●障害児及び配慮を要する子どもについては個別指導計画を立案し、個人別に保育にあたっています。職員は横浜市港南地域療育センターの研修に参加し、研修参加者から伝達研修により共有化を図り、全職員で知識を深めています。園では、統合保育を進め、保護者と話し合いの上、障害に応じた適切な診断の下、加配対象として対応する等、手厚い保育ができるよう取り組んでいます。

●アレルギー疾患のある子どもには、「除去食申請書に対する主治医の意見書(生活改善表)」に従って、除去食の提供をしています。給食時は、色の異なる専用食器で区別し、職員間で連携を図り、気の緩みのないよう、誤食に注意徹底して対応しています。

●苦情解決について、苦情解決に関する規定および苦情申出書を整備し、苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員等を設置して明示しています。保護者からの苦情に関しては、「苦情申出窓口」の設置についての案内を配布及び掲示を行い、保護者に周知しています。また、保護者から要望や苦情が言いやすいよう、玄関に「苦情受付ポスト」を置き、保護者が参加する行事(年4回)後にアンケートを実施し、いただいた意見等は、職員会議で全職員に周知しています。

●感染症に関しては、入園のしおり(重要事項説明書)に登園基準、登園許可届等を明記し、周知しています。感染症が流行した時には病気の留意点等を掲示して保護者に周知し、園内で感染者が出た場合は、状況を報告しています。感染症の最新情報は横浜市、港南区役所や、港北区ネットワーク事業に伴う横浜市大久保保育園のネットワーク保育士から情報を入手し、情報は掲示しています。

●外部からの侵入に対しては、玄関の出入口は登録者の「静脈認証」で開錠するシステムになっており、セキュリティは完備されています。また、静脈認証開錠システムは契約している警備会社に直結し、緊急体制を整えています。不審者情報は、警察(日野駐在所)、港南区役所からの防犯メールで情報を入手するほか、日野駐在所からの見回りもあり、見回りの際は報告を受けています。

#### 4.地域との交流・連携

●港南区役所こども家庭支援課が推進する「保育園にあそびにきませんか」の広報リーフレットに育児相談や地域子育て行事を掲載し、園庭開放、交流保育の実施を通して地域の親子から園に対する希望や、要望・意見を聞いてニーズを把握しています。港南区は、港南中央・港南台・野庭の3つの地域があり、COSMOS保育園は港南中央のブロックにある保育園と協働して活動を展開し、地域の具体的な福祉・子育て支援サービスの情報・ニーズの収集をしています。協働開催の「あそびにおいでよ!冬フェスティバル」(港南スポーツセンターで実施)では役員として準備を担当し、地域の親子150組の参加がありました。育児相談は、随時、電話で予約を受け付け、対応し、園見学の際にも育児相談も受け入れています。地域への保育園行事(運動会等)のお知らせは、町内会長経由で敬老会に開催の案内を行い、地域の民生委員、第三者委員にも案内しています。

●地域への園の理解促進のための取り組みとして、行事(運動会)に近隣の方々、町内会、敬老会に案内し、園の取り組みや子どもの様子を見てもらう機会を設けています。地域の団体、機関との計画的な交流では、日野中央公園管理事務所との連携により日野中央公園の花植えや、和太鼓の演奏を通して交流を行っています。学校との連携では吉原小学校、日野小学校の学校見学に参加し、公開授業に参加する等、連携しています。地域の保育園との交流保育(年長児)では日野中央公園で時には拡声器、白線引きなどを貸し出しています。また、地域の幼保小との連携において、年2回総会に参加し、すこやか子育て講演会、

	<p>公開保育、公開授業等で交流を図っています。</p> <p>●ボランティアの受け入れでは、中学生、高校生の職業体験学習や、園を卒園した方の本の読み聞かせ等を受け入れています。また、横浜市社会福祉協議会が運営する横浜市ボランティアセンターに募集を申し出ています。身近なボランティアでは、八千代農園のオーナーから園児の農業指導や農園側の作物の収穫の提供や、植物の提供をしてもらったり、職員の家族（保育学科在籍）が園に手伝いにきてもらう等、身近な関係者からも協力をいただいています。</p>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやブログ、港南区役所に園のパンフレットを置き、パンフレットは園児学者や来園者にも配布し、必要に応じて保育内容・実費等の詳細説明をしています。育児支援のお知らせや保育園情報は、港南区子育て情報サイト、広報よこはま港南区版にわかりやすく情報が提供されています。また、「こうなんまっぷっぴ」（港南区子育て情報まるごとガイド）にも掲載しています。入所案内の広報誌や、「ヨコマハはびねすぽっと」にも情報を提供しています。</p> <p>●重要な意思決定の該当事項については、決まり次第、理由事項を添えて説明し、文書を配布して理解を促す体制を構築しています。今回、姉妹園である「Poco a Poco」の小規模園への改組により、一部の受け皿のためCOSMOS保育園の園庭の拡大計画があり、横浜市の申請、認可が決定し次第、重要な決定事項として職員および保護者に十分に説明する予定にしています。</p> <p>●事業運営に影響のある情報については、港南区内の園長会議、横浜市・港南区役所からの情報、「保育界」（定期購読）の購読、よこはま福祉ナビ等から収集に努めています。また、横浜市の監査の指導・指摘、会計監査の指摘、日々の各クラスにおける課題についても職員に周知し、改善に努めています。さらに、保育運営面での重要な改善課題について園全体で取り組むことが重要と考え、職員に周知を図り、理解を促しています。</p>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<p>●実習生の受け入れ体制は、実習生受け入れのための手引きを整え、担当者は園長、保育長とし、手引きに基づいて確認事項等を口頭で説明を行います。実習では、学校の意向の確認をし、部分実習、責任実習について本人の希望も聞き、担当者を決めて実習が効果的に行われるようにします。実習最終日には反省会を設けて職員と意見交換の機会を設け、園の運営に反映するよう体制を整えています。今年度、受け入れの予定でしたが、依頼のあった大学側の都合で見送りとなり、今後、積極的に実習生の受け入れを行っていきます。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、内部研修は全体職員会議の中で園内研修を定期的に組み入れ、非常勤職員も含めた全職員で実施し、共通理解と資質向上に努めています。外部研修については、各職員の希望、園長の勧めの両面で研修内容・参加を決定しています。園長は、外部研修に参加する際は、事前に講師の著書や下調べをして参加するよう指導し、成果の上がる研修とするよう促しています。研修参加後は、研修報告を行い、伝達研修にて職員で共有し、保育に生かしています。</p> <p>●サービスの評価では、人事考課および、毎日の日誌で日々の保育を振り返り、毎年、保育士は自己評価を実施し、保育における「質の高い対応」について考え、課題を明確にし、全体の活動につなげる仕組みを作っています。外部から保育の技術の評価・指導等は、体育の専門講師、英国人の英語講師を導入し、保育士も研鑽しています。</p> <p>●園では階層別の人事考課制度を定め、期待水準を明文化し、職務権限規程を設定しています。職務権限規程には詳細に管理職等の規定を定め、園の円滑な</p>

業務につなげています。職員からの業務提案では、職員会議に園長も出席して職員の提案を聞き、改善につなげています。人事考課制度による園長との面接の際は、個々の希望、各保育士の意向を聞き、満足度も把握しています。